

# 平井第二小学校応援団実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

平井第二小学校長      坂口 幸恵  
コーディネーター      鶴巢 寿明

## 2 今年度の活動内容

### (1) 新規協力者募集

4月の始業式・入学式を終え、地域・保護者対象に新規協力者の募集を行った。読み聞かせボランティア、図書整備ボランティア、わかばとグリーンキーパーズなどに新1年生の保護者が関心をもち、10名程度の応募があった。

### (2) 学校応援団総会の開催

12月8日(土)午後1時30分より第4回「わかばと学校応援団総会」が開催された。各活動にかかわってくださっている皆さん、保護者・PTA 役員の皆さんにお集りいただき応援団活動の報告が行われた。各活動とともに活発な取組をご報告いただき、ますます今後の活動が期待された。

また、台東区教育委員会教育委員の前田 烈先生を講師にお招きし『心ゆたかな子供を育てる～学校・家庭・地域が一体となって～』と題して講演会を行った。学校応援団が核となって、「いのち」の大切さ、「いのちをつなぐ」大切さを伝えていって欲しいと熱いエールをいただいた。

### (3) 具体的な活動内容について

#### ①わかばとグリーンキーパーズ

本校の特色である、校庭の芝生の維持管理を目的としたボランティア団体であり、平成21年度8月の校庭芝生のオープンと共に結成された。芝生は生き物であり、地域協力者との連携は不可欠である。今年度は4年目に入り、芝生の維持管理のコツをつかみつつあり、作業内容も計画的に行うことができた。また、今年度より月2回、毎木曜日に教員と児童による芝生維持活動を、月曜日の全校朝会後にごみ拾いを実施した。応援団の構成メンバーを見ると現状としては土曜日の活動に限定されることになるが、次年度以降も平日管理の可能性を引き続き検討していきたい。

#### ②読み聞かせボランティア

今年度から実施の読書科の充実を目指し、読み聞かせボランティアの回数を大幅に増やした。4月23日、読書の日の読書集會に2名のボランティアを、1月26日、土曜日授業の読書集會に4名のボランティアを招き、全校児童を対象とした役割読みを披露してもらうなどの工夫を行った。

#### ③図書整備ボランティア

図書室の整備を年間通して行った。また整備だけではなく、小松川図書館からの団体貸出しの選書、図書購入についての意見の集約などを行い、児童の読書環境の充実に努めた。整備はほぼ毎週月曜日に行われており、活動が定着している。

#### ④土曜ひろばサポーター

サタディ・プロジェクトとして行っている土曜ひろばでは、毎回学習支援として地域・保護者の協力がある。学習支援だけではなく、地域の講師に折り紙を学ぶ機会なども設定し、地域の方との交流を深めることもできた。土曜日授業も本格実施されているが、自主的に学ぶ



場として、引き続き活動の充実を図りたい。

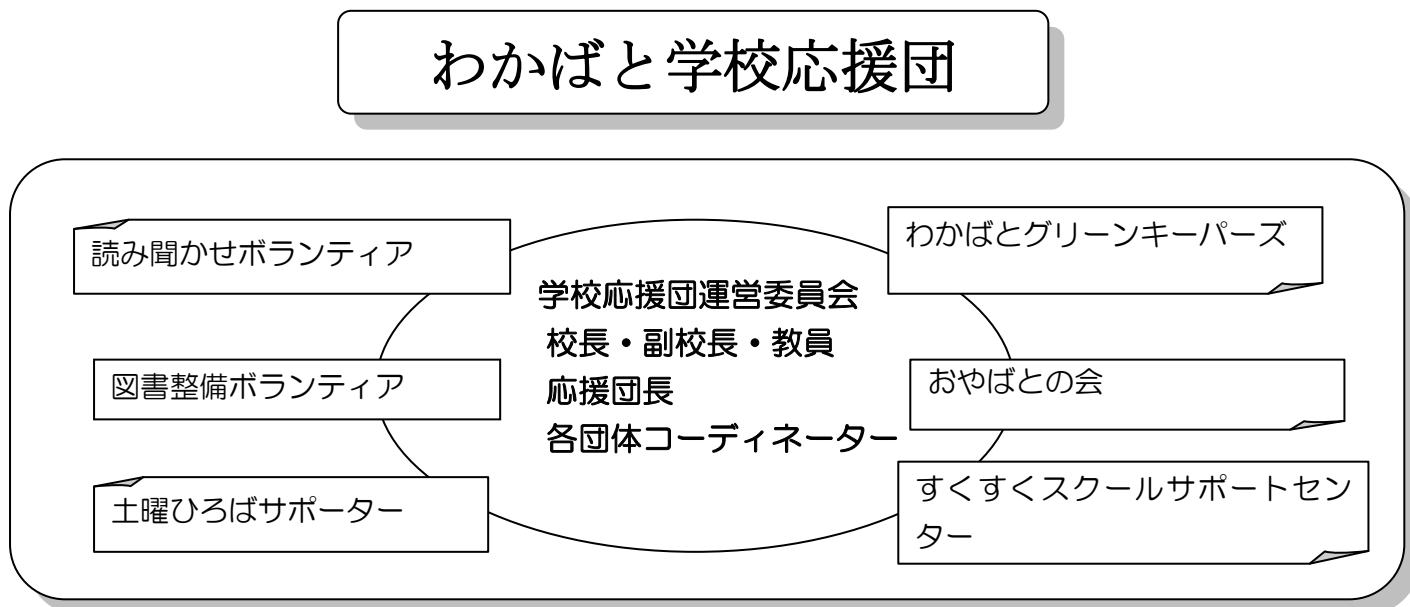
#### ⑤すくすくスクールサポートセンター

平成18年度に設置されたサポートセンターも今年度で7年目となり、センターの自主的な活動が完全に定着してきた。夏の「プールで遊ぼう」、冬の「もちつき体験」を中心に地元宮元町会の協力をいただきながら運営を行っている。

#### ⑥おやばとの会

平成20年度に発足した父親を中心とした会である。今年度も7月7日の「親子デイキャンプ」、9月22日の「平井二升芝生まつり」、12月8日の「もちつき体験」で大活躍をもらった。平日にはなかなか活動できないお父さんたちが知恵を出し合い、楽しみながら交流を深め、活動している。

### 3 学校応援団組織図



### 4 今年度の成果と今後の課題

＜成果＞新規協力者も加えながら、既存の活動をさらに充実させることができた。

＜課題＞応援団コーディネーターの育成は喫緊の課題である。副校長との役割分担も含めて検討していきたい。

### 5 コーディネーターより

平井第二小学校は一人一人の子供たちに出番があり、元気で明るい学校です。学校応援団の六つの組織が構成されており、それぞれ充実した活動をしています。応援団長として子供たちの健全育成に努めていきます。



### 6 学校長より

本校は「小さな学校の大きな教育力」を合言葉に、学校・家庭・地域が一体となって教育活動を推進しています。特に「わかばと学校応援団」の皆さんには日頃よりお力添えいただいていることに感謝しております。おかげ様で、小さな学校の大きな教育力を最大限に発揮し、元気で「豊かな心 たくましい心」を子供たち一人一人に育てています。

地域の皆様に愛され、大切にされる学校づくりを今後も推進して参ります。